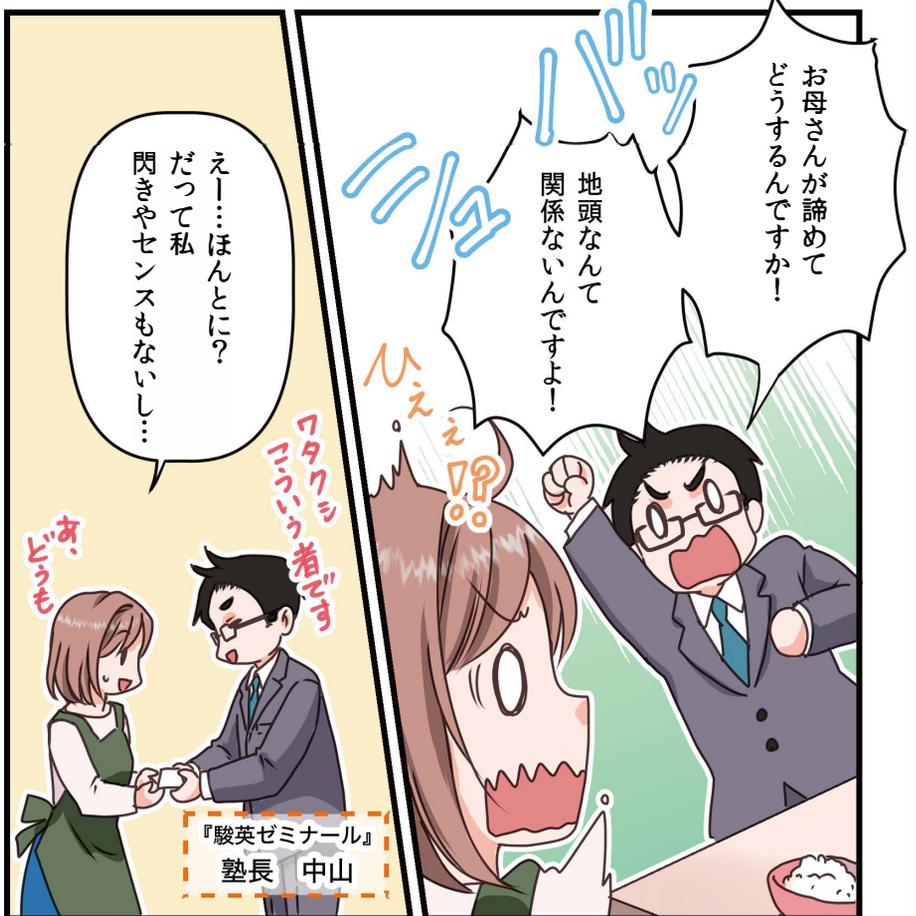
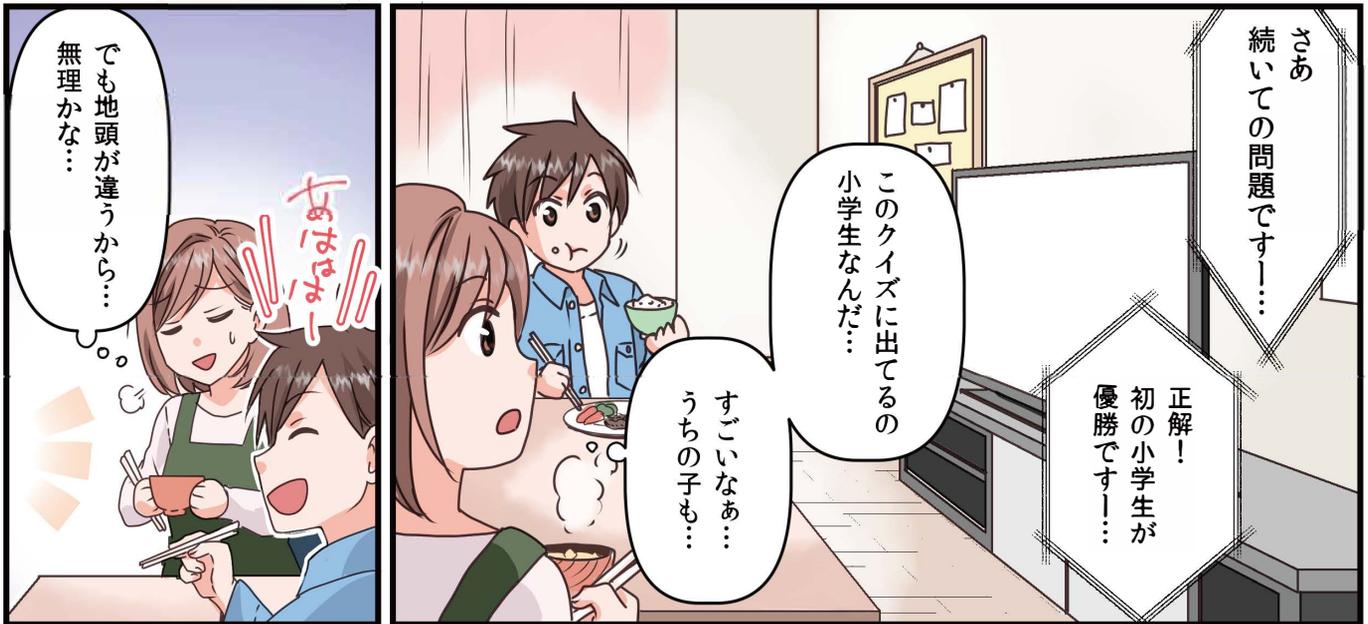
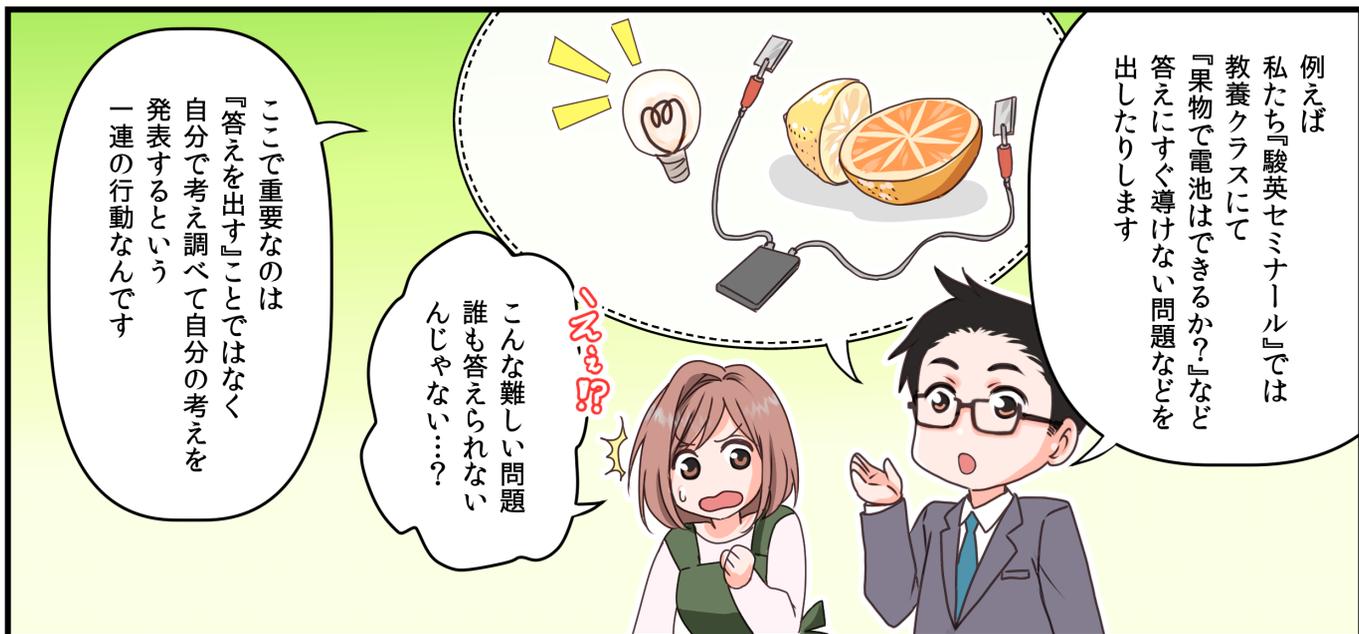


社会科見学と教養クラス





例えば
私たち『駿英セミナー』では
教養クラスにて
『果物で電池はできるか?』など
答えにすぐ導けない問題などを
出したりします

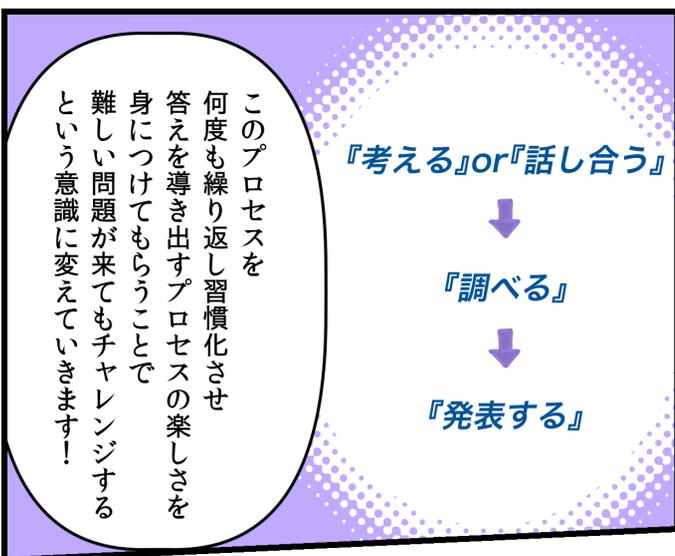
ここで重要なのは
『答えを出す』ことではなく
自分で考え調べて自分の考えを
発表するという
一連の行動なんです

えっ!?
こんな難しい問題
誰も答えられない
んじゃない...?



正解を出さなくても
学習する経験の楽しさを
知ることが
大事なんです

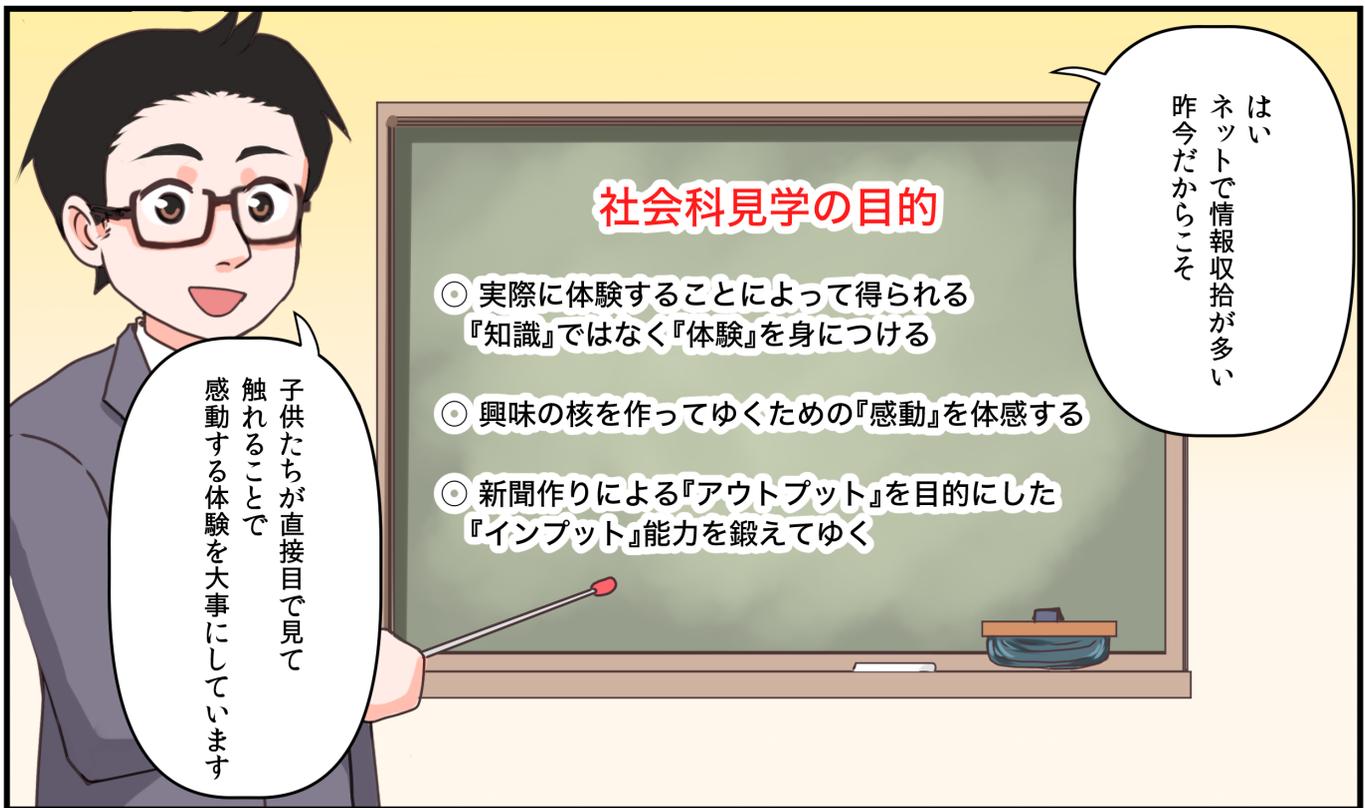
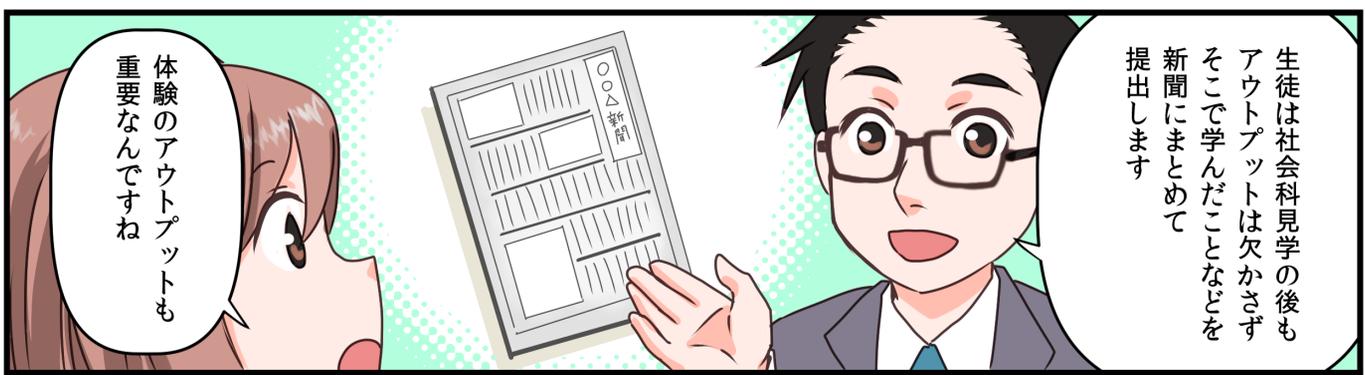
深く理解する為に繰り返し
チャレンジする力を
つけていきます



ちなみに発表させるって
いうことは
なぜ重要なんですか?

理解が早い子は
発表や説明が上手です
誰かに伝えるための学習をする時に
子供の集中力は高まり
理解も深くなります

駿英では
「アウトプットのためのインプット」を
習慣付けることで
集中力を高める習慣を作ります



そして机上での勉強だけでなく
体験することも
インプットの一つです

最近ずっと家にいるから
どこにも連れて行って
ないなあ…

お母さんは最近
子供とどこかに
行ったりなどは
していますか？

農業体験

そこも当塾が
ご家庭の代わりに
社会科見学など様々な体験を
させていきます

東大見学

科学技術館見学

えーこんな
色々なところに
行けるんだ！

生徒は社会科見学の後も
アウトプットは欠かさず
そこで学んだことなどを
新聞にまとめて
提出します

体験のアウトプットも
重要なんですね

社会科見学の目的

- ◎ 実際に体験することによって得られる『知識』ではなく『体験』を身につける
- ◎ 興味の核を作ってゆくための『感動』を体感する
- ◎ 新聞作りによる『アウトプット』を目的にした『インプット』能力を鍛えてゆく

はい
ネットで情報收拾が多い
昨今だからこそ

子供たちが直接目で見て
触れることで
感動する体験を大事にしています

子供が自ら興味を持って感動する能力か…

感動が伴った記憶って忘れないですね

勉強だけでは決して伸ばすことができない能力を子供のうちに伸ばしていくことで自分で考え、学習して行動していける子になっていきます

そうなっていくと手がからなくていいんだけど…

まあ♡

子供のうちに必要なのは知識を入れることではなく『器』を作ることです

いろんなことに興味を持てる感受性誰かに伝えるために情報を取り入れる能力それらを育てていくことで子供の『器』は大きく魅力的で強くなっていきます

是非私たちに任せしてみませんか？

是非よろしくお願ひします

私たち『駿英ゼミナール』では『学習』『教養』の他に『キャリア』と3つの教育の柱を立て総合的に子供達の能力を上げていきます

